

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

すみだ消費者センターを 訪問しました。

みなさん、すみだ消費者センターを御存じですか？

財団法人同潤会が建設した「中之郷アパートメント」の跡地の墨田区押上2丁目

に昭和63年「セトル中之郷」というビルディングが建設され、その中に「すみだ女性センター」とともに設置された施設です。

☆すみだ消費者センターの役割は？

墨田区に在住・在勤・在学の方が、商品を購入したり、サービスを利用したりするときに生じた、勧誘方法、契約内容及び品質のトラブルなどの消費生活に関する相談を受け付け、問題解決のための助言やあっせん等を行っています。現在は5名の消費生活の専門の相談員が対応しています。

☆どのように相談すればいいの？

まずは、お電話でご相談ください。電話でそのまま相談をお受けする場合と内

容によっては、センターに来ていただく必要がある場合があります。後者の場合は、契約書面などを持ってきていただくことがあります。その都度ご説明いたしますので、お気軽にご連絡ください。

☆最近の相談で多いのは？

「携帯電話やパソコンに架空請求が何度も送信され、お金を支払ってしまった。」

「インターネットで購入した商品が届かない。」

「偽物が届いた。」

「貴金属の買取業者に来訪されて安く引き渡してしまいました。」

☆高齢者の相談と被害事例は？

「訪問販売で、次々と高額な布団を買わされてしまった。」

「絶対に儲かると言われ、未公開株を勧められて購入したが、業者がいなくなってしまう。」

「水道水の点検と言われ、お願

いしたら、浄水器を買わさ

れた。」

など被害額も高額なことが多いのが特徴です。

日中一人でいる高齢者の方は優しい言葉や親切な態度によってだまされたことにより気がつかないことが多いようです。



訪問販売等で購入した場合は、8日間のクーリング・オフの制度があり、無条件で解約ができます。不安を感じたらすぐに消費者センターにご相談ください。

☆センターで受けられない相談は？

個人や労使間のトラブル、医療過誤については相談に応じられませんので、ご了承ください。

☆その他の活動は？

区内の団体に10人以上集まれば、1講座につき2時間以内で、専門の相談員が出張し、くらしの中の疑問、質問に答える「出前講座」を行っています。

☆センターの相談員さんからの一言

一人暮らしの方は戸締りをしっかりとって、知らない人を家の中に入れてはいけない心がけてください。特に高齢者は情にもろく、やさしくて親切な方が多いので、言葉巧みに近づいて来る人にはじゅうぶん注意する必要があります。

☆取材を終えて

毎日多岐に渡るトラブルの相談があるようですが、解決し、金品が戻ってきたとの連絡を受けたときが何よりは嬉しいと、相談員の方が笑顔で語ってくださいました。

すみだ消費者センター

住所：墨田区押上2-12-7

電話：5608-1773(相談専用電話)

相談日：月曜日～土曜日 午前9時～午後4時30分(土曜日は電話相談のみ)

セトル仲之郷内

日曜日・祝日・祭日・年末年始は休み

―病院への上手なかかり方―

「かかりつけ医を探しましょう」。講師の声が会場に響く。「大切なことは、お互いに信頼し合うことです」。久恵は、実はこのことが、医療のみならず、どの世界においても一番、難しいことなのかもしれないと思う。

つぼみがふくらみはじめ、春の訪れを教えてくれる今日この頃。診療所で医療事務を任されている久恵は、ボランティア団体が主催する勉強会の会場に来ていた。この仕事もあと少し。四月から看護学校に社会人入学することになったからだ。今日のテーマは『病院への上手なかかり方』。患者さんからの問い合わせにきちんと答えたい、という思いから参加した。診療所では、学んだことを持ち帰り、現場にいかすため、専門分野ごとに手分けして研修に出席することになっている。

「具体的にどのようなことが、かかりつけ医のポイントとなるのでしょうか。」講師はその質問に対してマイクの向きを直すと話しはじめた。「①家の近くにある。②普段の様子を知ってもらっている。③何でも話ができる。④きちんと説明してくれる。⑤十分な

情報が得られる。」

なるほど。久恵はノートに書き込みながら話を聞く。「受診時を持つていくものは、①健康保険証や診察券。②症状についてのメモや写真。③他の病院でもらっている薬（お薬手帳）などです。」

「そして、待合室での注意は次の通りです。①診察時間内の受診。②診察前には飲食をしない。③ト

イレに行きたくなったら知らせる（尿や便を調べる場合があるのだ）。④嘔吐した、せきが止まらない、激しい腹痛、呼吸が苦しい、意識がもうろうとする、などの症状の時は申し出ること。」

講師の話は続く。「次に、診察の際の注意点は次の通りです。①症状等は明確に伝えること。（書いていくのもよい。いつからはじめて、どんな症状なのか。近所で流しているのか、飲んでいる薬や

アレルギーがあり、飲めない薬など。）②説明は十分聞き、不安なときはメモをとること。」ここで、講演が終わった。数人が質問をしている。

「さあ、今日学んだことをまとめて、明日、報告しよう。患者さんが安心して治療に専念できるように、皆で努力していきたい。久恵は筆記具を片づけながらそう思う。



< 3月の旬の和えもの >

手軽にクッキング ⑱

葉玉ねぎの酢みそ和え (1人分 39kcal)

<材料 2人分>

- 葉玉ねぎ 1個 (又は新玉ねぎ)
- * 酢みそ 小さじ1 (まとめて作り置きする)
- 味噌 70g
- 酢 大さじ2
- 砂糖 50g (からし 少々)



<作り方>

1. 葉玉ねぎは一皮むき、葉と茎にわける。
2. 葉は3cmにカット、玉ねぎはくし型切りにする。
3. さっとゆで、さます。(電子レンジにかけてもよい)
4. 酢味噌をつくる。
鍋に、味噌・酢半量・砂糖を入れ、弱火で煮とかす。火からおろし、残りの酢を混ぜ、さます。好みでからしを加える。
5. 器に玉ねぎを色よく盛りつけ、酢味噌少々をかける。(和えてもよい)

<応用>

- ・わけぎとわかめの酢みそ和え。(ざく切りし、ゆがく)
- ・ユリ根の酢みそ和え。(房をはずし、洗ってゆがく)
- ・菜の花の酢みそ和え。(ざく切りし、さっとゆがく)
- ・かぶの酢みそ和え。(一口大切りし、ゆがく)

*遅れた梅の花が開花し、やがて桜花の季節へと春が巡ってまいります。旬の食材をいただくと、元気が出ますね!
(協力:食育支援部)

「すいとん」の味

石山 はる子

先日、第二次世界大戦の戦中戦後の食糧事情の悪い時に米に変わって、代用食として食べられていたという「すいとん」を食べる機会がありました。

そこには、日本語を教えている先生、ボランティアで補佐をしている人々、フィリピンから日本に来て介護施設で働きながら日本語の勉強をしている生徒の中には「介護福祉士」の資格を取るために勉強している人など20名が参加しました。

生徒はもちろん、集まった人たちの大半が「すいとん」の味を知らない世代です。作ってくれたのは戦時中小学生だった高齢者の方達で、大きな鍋で、まぜ出汁をとり、汁に里芋、牛蒡、人参、椎茸、筍と数種類の野菜と肉、蒟蒻などを入れます。味付けは塩、醤油でします。お団子は小麦粉を水で練って食べる直前に入れます。昔は芋の茎、焼け野原に種を蒔き葉っぱを育

て、これらも入れたそうです。戦後は食材が全て配給だったので、今のように白い小麦粉は少なく、ふすま粉を混ぜて作ったものもあつたそうで、恵まれた時代になった感があります。



目の前の「すいとん」はたっぷりの汁に具沢山で温かく、とても美味しかったです。こんなに美味しいものが終戦後は材料が無く、今のものとは比べ物にならない代物で、人によっては良い思い出ばかりではないようです。今は当時を偲び終戦記念日などに、「すいとん」を食べるところもあると聞いています。食後、「すいとん」に関する話題になりました。「我が家では兄弟が多く、たくさん食べさせなければならなかった時に少

しでも空腹を満たすために作ったのよ。」などと「すいとん」を食べなければならなかった時代背景について語る方もいました。また、「疎開」「配給切符」「空襲」などの話も出ました。生徒達にとっては初めて聞く言葉だったでしょう。私にとつては聞いたことのあるもの、実体験の記憶はありません。戦争体験者は少なくなっていますが、話を聞くと胸が痛みます。現在は、何でも揃っていて食べ物に不自由することはありませんが、先人の苦勞を偲びながらいただきました。



「シニア人材バンク登録者募集」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に加えられる、さまざまな活動をしています。皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方はお名前をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。
tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

今月の東京スカイツリー報告

タワー本体は完成し、二カ月後の開業に向けて、廻りも急ピッチで工事が進んでいます。



平成23年度 見守り活動報告会

～地域の見守りネットワーク再発見～

墨田区では平成23年度に区内全8カ所に「高齢者みまもり相談室」を開設いたしました。高齢者みまもり相談室では、高齢者が地域で安心して安全に暮らし続けられるように、高齢者を見守る仕組みづくりを地域のみなさまと一緒に作る活動をすすめています。

日々の活動の中、地域のみなさまの様々な『支えあい』や『見守り』の助け合いに触れることができました。その一端をご報告させていただき、今後の見守り活動のヒントとなりましたら幸いです。

日時：平成24年3月28日(水) 午後2時～4時(受付午後1時30分～)

場所：墨田区役所131会議室(13階)

「高齢者熱中症等対策事業報告」

～訪問から見た地域の傾向～

高齢者福祉課長 渡辺 久尚

「再発見!見守りの輪」みまもり講座

～実は私も・・・!～

はなみずき高齢者みまもり相談室

「高齢者みまもり相談室活動報告」

こう め高齢者みまもり相談室

同 愛高齢者みまもり相談室

「地域の見守り活動報告」

みまもり協力員 岩田 ユリ子様

参加費：無料 申込み：直接会場にお越しください

問い合わせ先：高齢者福祉課 5608-6170

平成23年度セカンドステージ支援事業：シニアボランティア講座②

あなたも地域の立役者 ～ボランティア体験会～

◆ボランティアをしたいのだけど、どこで何をしたらいいの？

◆何の資格も経験も無いけれど、こんな私でも大丈夫？

そんな疑問や不安を抱えて足踏みしている貴方のための ボランティア体験の会やります!!

日時：① 平成24年3月21日(水) 10:30～12:00

② 平成24年3月23日(金) 14:00～16:00

会場：① 文花子育てひろば(文花1-20-3)

② 特別養護老人ホームたちばなホーム(立花3-10-1)

定員：各20名(要事前申込：両日参加も可) 費用：無料

対象：概ね55歳以上の方で、ボランティア活動に興味のある方

申込・問合せ：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

電話 03-5631-2577(受付時間：平日午前10時～午後4時)

主催：墨田区 企画・運営：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6920

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tehnendosukoiclub/>

東日本大震災から一年、3月11日には各地で追悼の祈りが捧げられた。これまで復興に向けた被災地の努力を報道を通して見守ってきましたが、これからもふるさと再生に向けた道のりは続きます。記憶を風化させずに、微力ながら引き続き支援していきたいものです。

編集後記